

産業の歴史探訪 半日コース

平日、所要時間約4時間のコースです。



雪印メグミルク
酪農と乳の歴史館



札幌村郷土
記念館



サッポロ
ビール
博物館

苗穂駅周辺まちづくり協議会



「産業のまち」として開拓使の時代から発展を続けてきた苗穂。JR 苗穂駅の北側には、開拓時代から現在までの苗穂の産業の歴史を伝える多くの資料館・史跡があります。

このマップでは平日に徒歩で見学できるコースをセレクトしてみました。あなたも苗穂で「大人の社会見学」を楽しんでみませんか？

アクセス

JR

苗穂駅下車。苗穂駅には北口がありません。苗穂アンダーパスをくぐり、線路の北側へ抜け福山醸造株式会社を目指してください。

バス

中央バス 苗穂線 (環3)「北6条東17丁目」停留所で下車すると福山醸造株式会社前です。

福山醸造株式会社に向かって左側の中通を抜けたところが雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館です。

1 雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館



勝源神社。ご利益ありそうな雰囲気です。

北海道の酪農とともに歩んできた雪印乳業の歴史を語る多くの資料を展示しています。併設の雪印メグミルク札幌工場の工場見学もおすすです。

平成17年には工場内に受験生やスポーツ選手の間で「縁起が良い」と人気の同社の乳酸菌飲料「カツゲン」にちなんだ「勝源神社」も誕生しました。

休館：土日祝祭日、年末年始
時間：9:00～11:00、13:00～15:30の間で30分刻みにスタート
料金：無料 ※前日までの完全予約制
住所：東区苗穂町6丁目 / 電話：011-704-2329
URL：http://www.meg-snow.com/

2 札幌村郷土記念館



ダルマストーブや火鉢など懐かしい品がたくさん。

幕末、石狩平野の開拓に力を尽くした大友亀太郎。その役宅跡地に建てられた史料館です。

亀太郎が築いた大友掘に関する資料や、当時の生活用具や農具を多数展示しています。年配の方なら「そういえば昔使っていたなあ」と懐かしくなる道具があるかもしれません。

小さな施設ですが、この地域が「札幌村」だったころの歴史がぎっしり詰まっています。

休館：月曜、祝日の翌日 / 時間：10:00～16:00
料金：無料 / 住所：東区北13条東16丁目
電話：011-782-2294

3 サッポロビール博物館



有料で試飲も可。ビール好きにはたまりません。

北海道遺産にも選定されている日本で唯一のビール博物館です。ビールの製造法や歴史に関するさまざまな資料が展示されています。

通路の両サイドに歴代のサッポロ、エビスのビール瓶が勢揃いしたコーナーも。数百本に1本といわれる幻の「開運ラッキーエビス」も展示されています。

休館：年末年始 / 時間：9:00～18:00 (入館17:30まで)
料金：無料 ※10名以上の団体は事前連絡が必要です
住所：東区北7条東10丁目 / 電話：011-731-4368
URL：www.sapporobeer.jp/

よりみちスポット



①大友公園

かつて大友掘の注ぎ口だった場所につくられた公園。札幌村郷土記念館のすぐ近くにあり。見学前後にちょっと休憩。

住所：東区北13条東16丁目



②カフェ&ランチ ポニータ

「shinjo選手」「小笠原選手」など、ファイターズの選手名にちなんだパスタが楽しいお店。ちなみに写真は「田中賢介選手」。

住所：東区北8条東12丁目1-1須戸ビル2F
TEL：011-712-1771



③アマとホップのフラワーロード

北8条通では、かつて製麻工場や麦酒醸造所などが立ち並んだ北8条界限をアマとホップで彩る植栽活動が行われています。



④蒸気機関車「9643」号

サッポロガーデンパーク内、サッポロビール園の南側にあります。9600形は日本初の量産蒸気機関車で、この9643号は大正3年11月に製造されてから実に約半世紀にわたって北海道で使用された車両です。

発行者：苗穂駅周辺まちづくり協議会
E-mail：info@naebo.com
URL：www.naebo.com

苗穂駅周辺まちづくり協議会は、平成3年から苗穂地域で市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりを行っています。

編集協力：株式会社ノーザンクロス
TEL：011-232-3661 / FAX：011-232-4918
E-mail：info@northerncross.co.jp
URL：www.northerncross.co.jp

平成18年3月発行